

# 平成27年度 南魚沼郡市総合部 活動報告

部長 大津 政好

## 1 研究主題

南魚沼郡市の素材を活かした総合的な学習の時間の工夫（5年目）

## 2 研究の概要

研究主題達成のために、以下の取り組みを行う。

- (1) 南魚沼市学習指導センターの研修講座や共催研修会に参加する。
- (2) 研究部員が校内研修等で「総合的な学習」の研究授業を行う場合には、支障がなければ他校の研究部員に案内を出して、可能な限り参加しあう。

## 3 研究の実際

- (1) 南魚沼市学習指導センター研修講座（総合部共催） 4月23日（木）15:00～  
テーマ：「われら南魚総合探検隊」 会場：中之島小学校  
内容：常山昭男先生（中之島小）の講話と小川茂先生（中之島小）、吉田由紀子先生（五日町小）の実践発表から、総合の大枠をつかむことの大切さや題材・テーマの決め方、具体的な実践の進め方、活動のまとめ方等について研修した。

- (2) 郡市小学校新教育課程研究集会 8月4日（火）15:00～ 会場：六日町学校

①講師 山本哲也様（県立歴史博物館専門研究員）

②演台 「展示は“総合”学習」

③概要 <進行：渡邊正文>

- ・開会の挨拶（大津政好）
- ・講師紹介（金子和宏）
- ・講話
- ・質疑
- ・御礼と閉会の挨拶（常山昭男）

<感想等から>

講師の豊富な実践（実際に展示を企画運営してきた立場）から、その意図や経緯をエピソードなどを織り交ぜながら、楽しくお話いただきました。「総合」は“総合”と書くべきではないかとのお話は、目からウロコでした。

“総（ふさ）”……「寄せ集める」という意味

“綜（あぜ）”……「縦糸と横糸で織り上げる」という意味

※中島みゆきの歌を例にお話いただいたことで、一層心に残りました。

また、縄文遺跡の研究から「自然と人間」「人間と人間」の関係性にまで話が及び、ナルホドと感ずるあつという間の時間でした。



## 4 成果と課題

恒例になった4月の研修会は、中之島小学校を会場に学習指導センターとの共催により、総合学習のポイントや課題等について実践事例をもとに、具体的で分かりやすいお話をいただくことができた。

特に今年は、「総合で子どもたちにどんな力を付けさせたいのか。」「南魚沼市の特色、価値ある教材になり得るものは何か。」と、改めて考える場を与えていただき、前述の主題に直結した研修となった。

8月の研修会では、県立歴史博物館の山本哲也専門研究員を講師に招聘して、博物館の「展示」の意図や裏話をお聞きする貴重な機会を得ることができた。これも、南魚のサークル「KOOネット」と当部会の共催で実現することができ、次年度以降にもつながる研修会の方向性を得ることとなった。

「総合」とは単なる教科や指導内容を表す言葉ではなく、その言葉に込められた意図や背景にまで思いを馳せることができたことは、今年度の大きな感動であった。